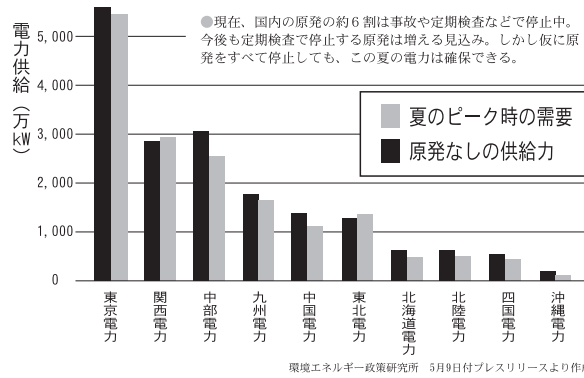


原発なくして大丈夫？

「原発なくして電力は大丈夫？」「どうやったら原発なくせるの？」など、「どうなっているの？もっと知りたい」の思いを大事にしながら、学び交流し、原発ゼロの社会をめざして行動しました。昨年末には、他団体とも協力しながら「原発ゼロをプレゼント クリスマス行動」を全国各地で行いました。

原発をすべて止めても電力は足りる



被災者のために何かしたい



岩手、宮城、福島に全国青年ボランティアセンターを開設。「何かしたい」と全国から集まったのべ 1450 人の青年と一緒に、被災者の声を聞くことを大切にしながら、寄り添うボランティア活動を展開。今年も 4 月末～5 月にセンター開設する予定です。

就活・働き方にルールを

「50社60社受けても就職が決まらない。就活にお金もかかって大変」「まともに生活できる求人がなかなかない」「人が減って、残業続きの毎日」——正社員がどんどん減らされ、いまや青年の2人に1人が不安定な非正規雇用。就職活動の早期化、長期化も学生の学びたい思いをさまたげている。こんな就活や働き方を変えて、将来の心配なく学びに打ち込み、人間らしく働くことができるルールをつくらう！

一緒に社会を変えよう！

青年が社会動かす

昨年の 10 月 23 に東京・明治公園で開催された全国青年大集会には全国から 4800 人の青年が集まった。「震災を口実にした内定取り消しや解雇、賃下げはおかしい！」「復興のためにも、まともな仕事と人間らしい生活を！」と社会と政治にアピールしたよ。集会翌日には、全国で集めた声を国会議員や省庁に直接届けたよ。



社会は変わるし変えられる

「奨学金を返せるか不安」「生活費をバイトで稼いでクタクタ」…安心して学べないのっておかしくない？ 世界では「学費は無償」が当たり前の流れです。

声を集めて国会へ

「学費を下げて」「返さなくていい奨学金をつくって」…願いと実態を集めて国会へ届けてきました。この運動に押され、政府の中からも給付制奨学金が必要という声が上がっています。この流れをさらに広げよう！

安心して学びたい

